

# 東北地方 1か月予報

(11月17日から12月16日までの天候見通し)

平成19年11月16日  
仙台管区気象台発表

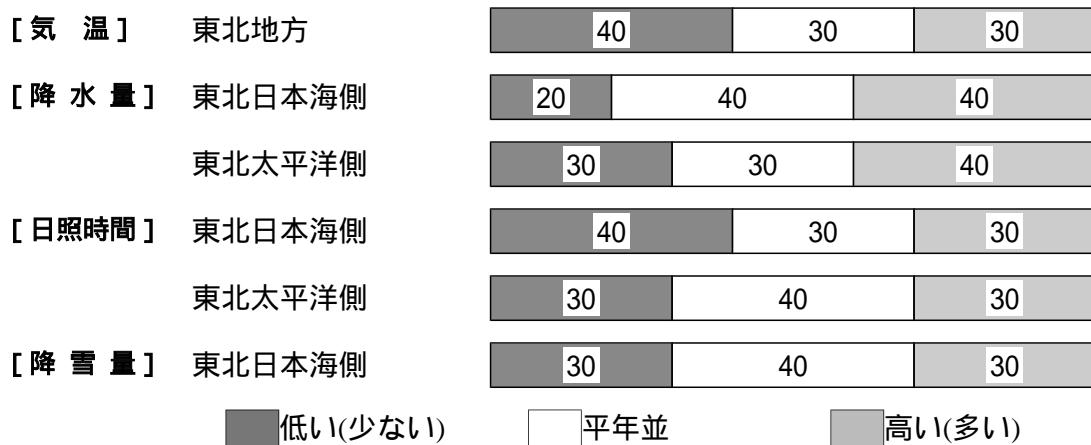
## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。1週目には一時強い寒気が南下し、気温が低く、雪の降るところもある見込みです。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

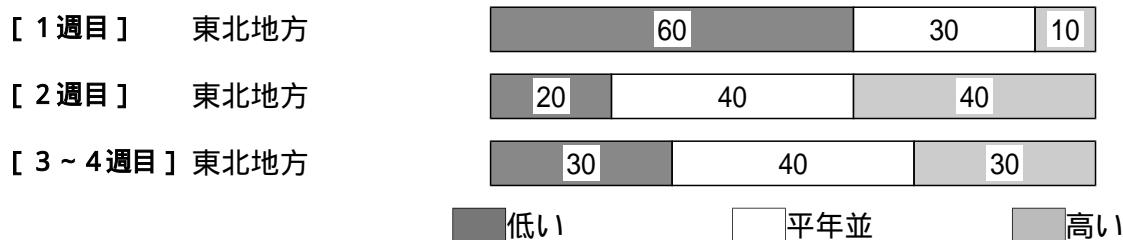
向こう1か月の降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は低い確率が60%、2週目は平年並または高い確率がともに40%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

- 1か月 : 11月17日(土) ~ 12月16日(日)  
1週目 : 11月17日(土) ~ 11月23日(金)  
2週目 : 11月24日(土) ~ 11月30日(金)  
3~4週目 : 12月 1日(土) ~ 12月14日(金)

## <次回発表予定等>

- 1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は11月23日  
3か月予報: 11月22日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

|     | 気温( ) | 降水量(mm) | 日照時間(時間) | 降雪量(cm) | 気温( ) |     |       |
|-----|-------|---------|----------|---------|-------|-----|-------|
|     |       |         |          |         | 1週目   | 2週目 | 3～4週目 |
| 青森  | 3.5   | 142.1   | 64.0     | 100     | 5.5   | 4.2 | 2.4   |
| 深浦  | 4.5   | 147.6   | 43.9     | 38      | 6.6   | 5.2 | 3.5   |
| むつ  | 3.3   | 108.9   | 80.5     | 62      | 5.4   | 4.1 | 2.3   |
| 八戸  | 3.8   | 48.9    | 125.7    | 23      | 5.7   | 4.5 | 2.8   |
| 秋田  | 4.8   | 184.0   | 56.5     | 44      | 6.8   | 5.5 | 3.8   |
| 盛岡  | 2.8   | 81.0    | 101.9    | 40      | 4.7   | 3.5 | 1.9   |
| 大船渡 | 5.5   | 66.7    | 132.8    | 0       | 7.4   | 6.1 | 4.5   |
| 宮古  | 5.1   | 61.6    | 144.0    | 3       | 7.0   | 5.7 | 4.1   |
| 仙台  | 6.4   | 39.3    | 136.8    | 0       | 8.3   | 7.0 | 5.4   |
| 石巻  | 5.4   | 39.1    | 145.7    | 0       | 7.4   | 6.1 | 4.5   |
| 山形  | 4.4   | 79.4    | 85.2     | 44      | 6.3   | 5.0 | 3.5   |
| 新庄  | 3.5   | 206.3   | 42.5     | 90      | 5.5   | 4.2 | 2.5   |
| 酒田  | 6.3   | 229.5   | 52.4     | 30      | 8.1   | 6.9 | 5.4   |
| 福島  | 6.2   | 43.6    | 125.2    | 15      | 8.1   | 6.8 | 5.2   |
| 若松  | 4.0   | 80.1    | 74.2     | 44      | 6.1   | 4.7 | 3.0   |
| 白河  | 4.8   | 44.2    | 150.7    | 2       | 6.7   | 5.4 | 3.8   |
| 小名浜 | 8.0   | 61.2    | 170.4    | 0       | 10.0  | 8.6 | 7.1   |

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

|        | 気温平年差( )  | 降水量平年比(%) | 日照時間平年比(%) | 降雪量平年比(%) |
|--------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 東北地方   | -0.5～+0.6 | 81～102    | 98～104     | 55～107    |
| 東北日本海側 | -0.6～+0.6 | 90～107    | 93～107     | 64～113    |
| 東北太平洋側 | -0.5～+0.6 | 65～102    | 96～105     | 45～102    |

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

|        | 1週目       | 2週目       | 3～4週目     |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 東北地方   | -0.6～+0.6 | -0.7～+0.6 | -0.5～+0.7 |
| 東北日本海側 | -0.6～+0.6 | -0.7～+0.6 | -0.5～+0.7 |
| 東北太平洋側 | -0.6～+0.6 | -0.7～+0.6 | -0.5～+0.8 |

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成19年11月16日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(11月17日～12月16日)：

期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。1週目には一時強い寒気が南下し、気温が低く、雪の降るところもある見込みです。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

### 1週目(11月17日～11月23日)：

気圧の谷や寒気の影響で雨または雪の日が多いですが、明日(17日)と期間の終わりは晴れる所があるでしょう。なお、期間のはじめと期間の中頃は荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は低い確率が60%です。

### 2週目(11月24日～11月30日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

### 3～4週目(12月1日～12月14日)：

気圧の谷は数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

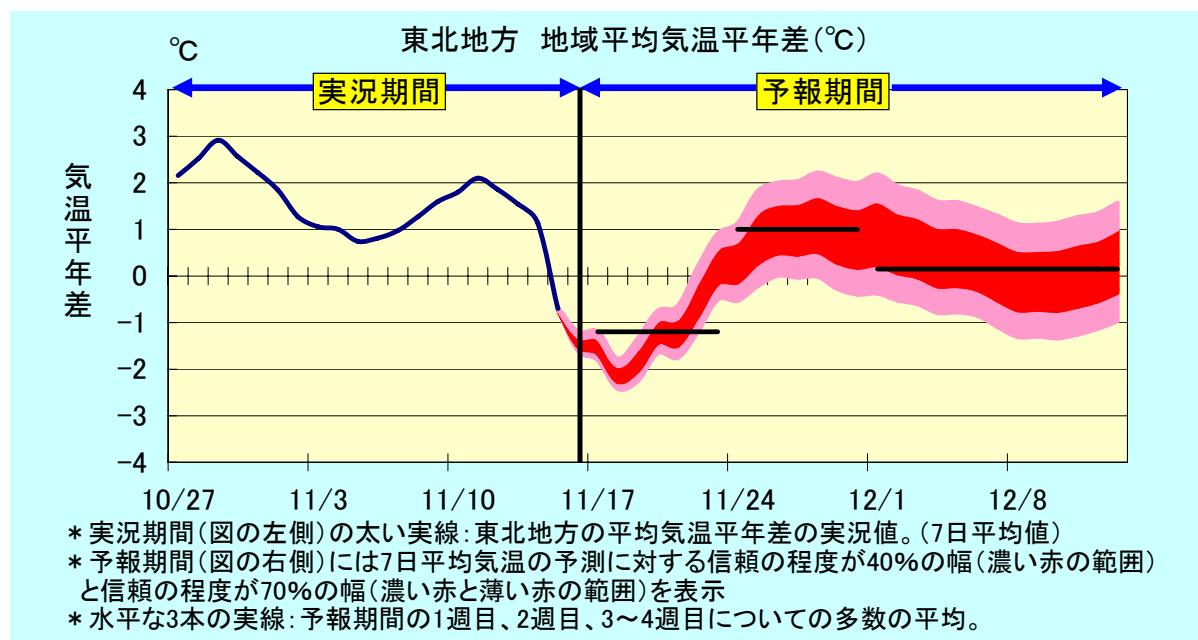
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

|        | 向こう28日間 | 1週目  | 2週目  | 3～4週目 |
|--------|---------|------|------|-------|
| 東北日本海側 | 5.7日    | 1.8日 | 1.5日 | 2.4日  |
| 東北太平洋側 | 16.2日   | 4.0日 | 4.0日 | 8.2日  |

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を下回り、2週目は平年を上回り、3～4週目は平年付近の予想となっている。

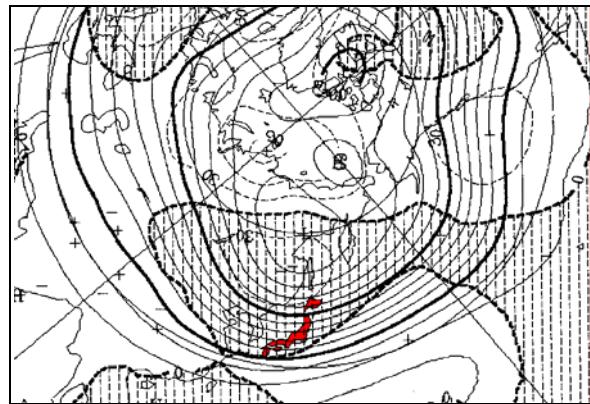


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

**1か月平均**: 偏差は弱いが、日本付近は負偏差となり、寒気の影響を受ける時期がある見込み。

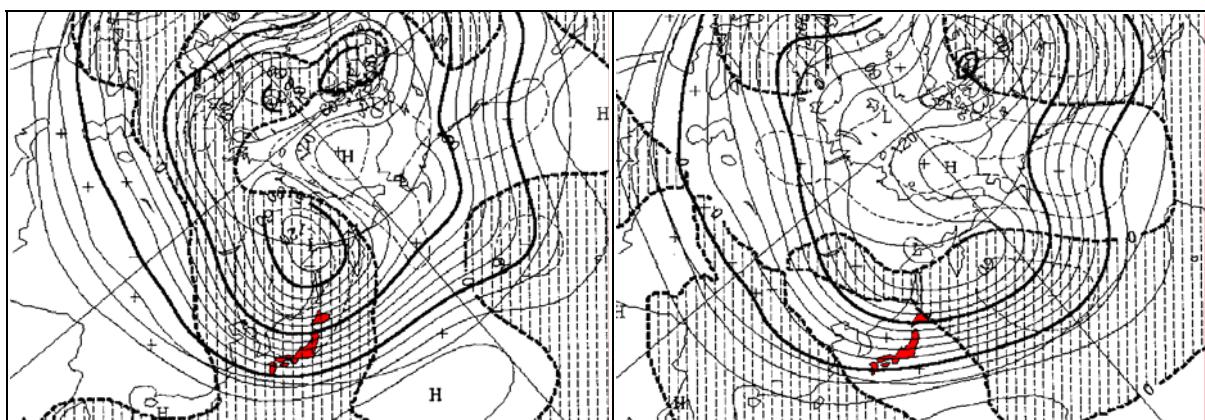
**1週目**: 日本付近はシベリア付近を中心を持つ負偏差となり、寒気の影響を受ける。西谷傾向であり、低気圧や気圧の谷の影響も受けやすく、曇りや雨または雪の日が多い見込み。

**2週目**: 日本付近は北海道の一部を除き正偏差となり、東北地方は寒気の影響は小さい。等高度線は南北の蛇行が小さく天気は周期的に変わる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

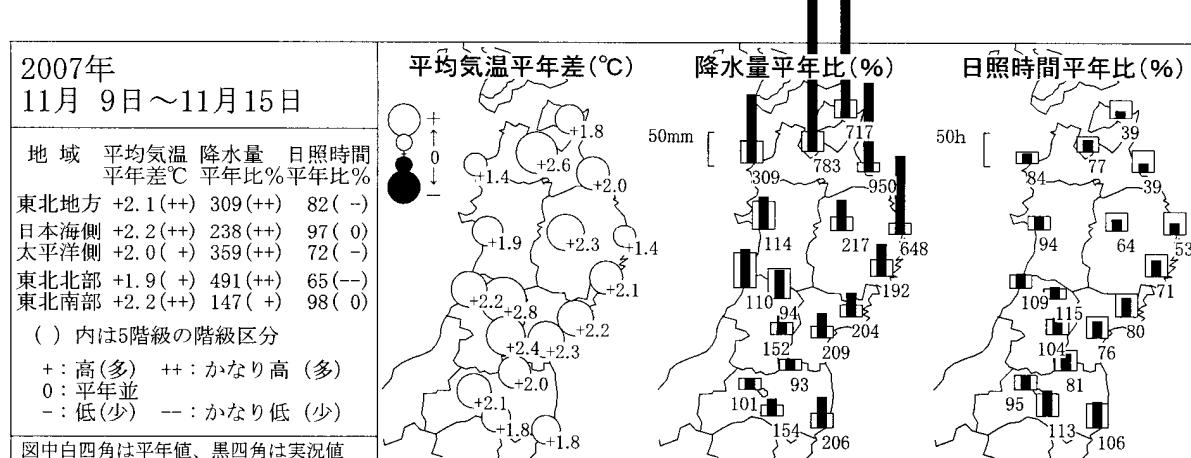
実線は、等高度線（間隔60m）、点線は、平年差（間隔60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間 (11月9日～11月15日) の天候の経過

この期間、低気圧や前線の影響を受けることが多く、曇りや雨の日が多くかった。11日から12日には日本海側から東進してくる低気圧と、日本の東海上を北東進する低気圧の影響により、東北北部を中心に大雨となり、青森県ではかけ崩れや浸水害、岩手県では浸水害が発生した。青森の12日の降水量は208.0ミリとなり、日降水量の1位の記録となった。15日には青森、秋田で初雪を観測した。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)